



諏訪ユネスコ協会

# 諏訪ユネスコ通信

第9号

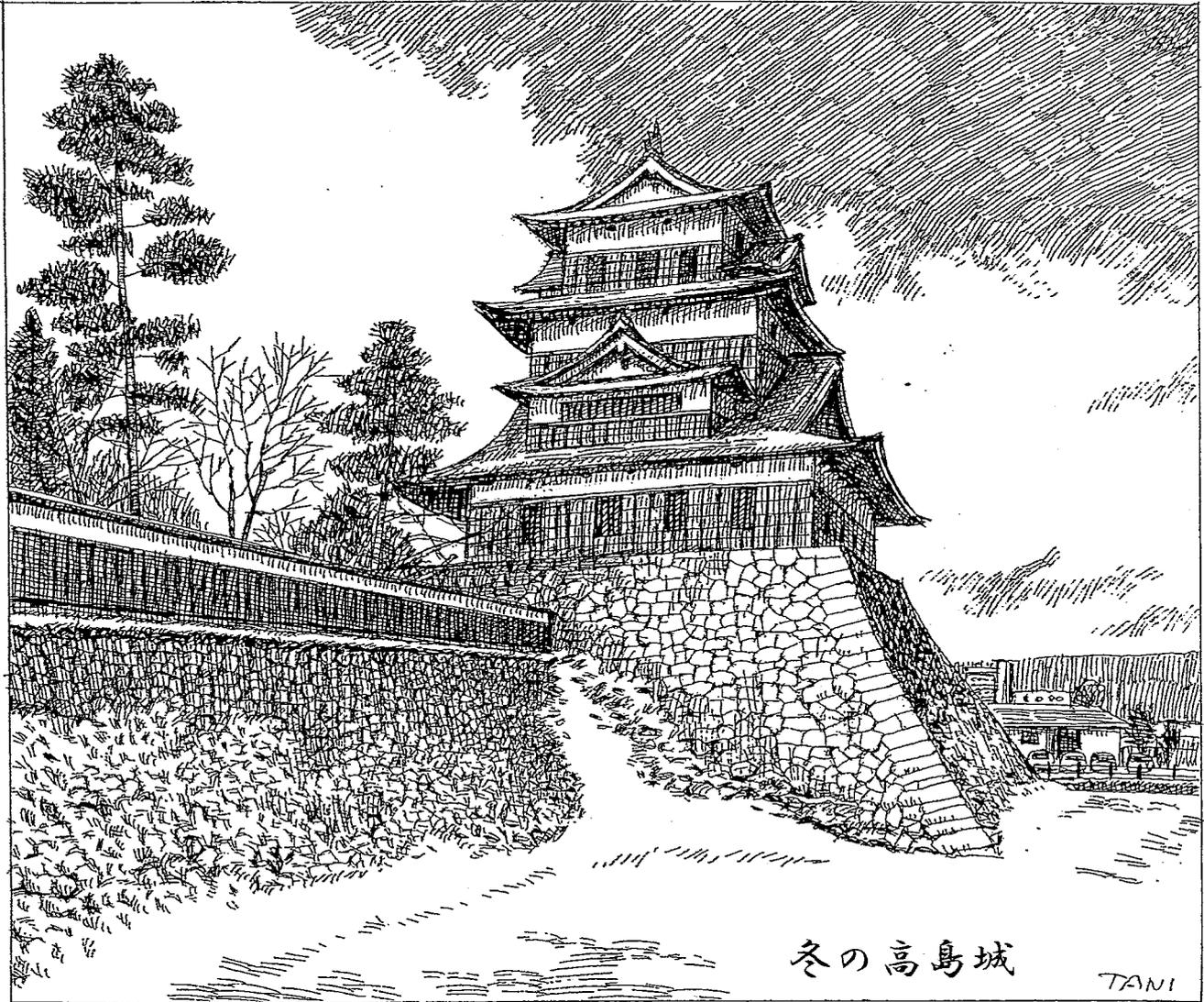
発行日

平成26年3月20日

発行者

諏訪ユネスコ協会

会報編集委員会



冬の高島城

TANI

挿絵：谷澤信憲

## 高島城

別名諏訪の浮城と呼ばれ、豊臣秀吉の家臣、日根野織部高吉により慶長3年に総石垣造り8棟の櫓、6棟の門、3重の天守閣が築城され、諏訪氏の居城として威容と要害堅固を誇ってきました。

明治8年撤去されましたが、昭和45年5月に天守閣・櫓・門・塀が復元され、高島公園としてその美しい姿を再び堀の水に映すようになりました。

城内1階は「企画展示コーナー」「市民ギャラリー」2階は「築城」「藩士」「藩政」のテーマごとに遺品や資料を展示、3階は諏訪の平を一望できます。天守閣がある高島公園は桜の名所で、また、四季の花も美しく咲き乱れます。

# 地域歴史文化遺産講演会

## 「シルク岡谷」について学ぶ



地域遺産部会では2月7日（金）午後7時より諏訪市公民館に於いて「地域の歴史文化遺産」の学習活動の一環として講演会を開催した。

「わが国の近代化を築いた諏訪人（すわびと）の英知と努力に学ぶ」と題して、岡谷蚕糸博物館館長・農学博士、高林千幸先生を招いた。

日本が諸外国から開港を迫られて貿易を始めたのが安政6年（1859年）で、主要な輸出品は生糸が66%を占めていたが、生糸の多くは粗悪品であった。

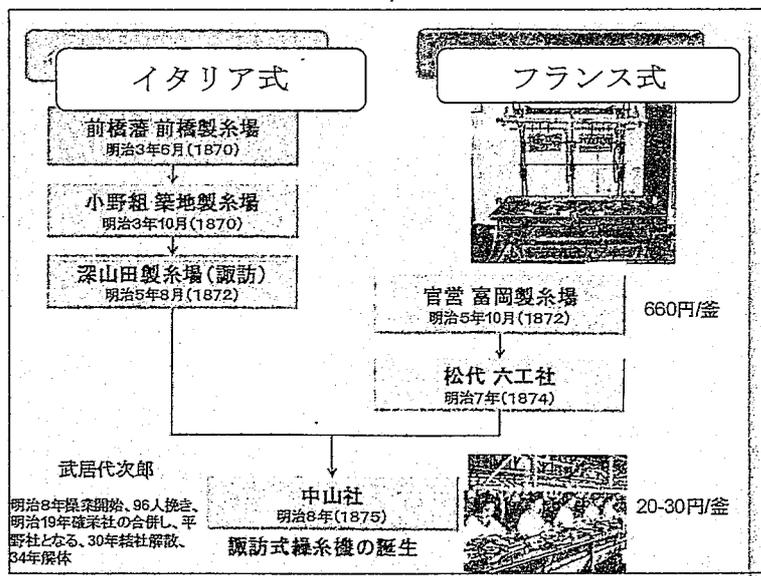
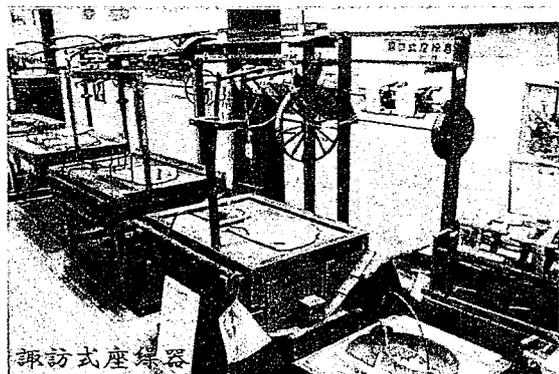
そのためイタリアやフランスの繰糸機を購入し、それらの機械をさらに、諏訪人を中心とする技術者、研究者、経営者が様々な工夫を積み重ねて諏訪式繰糸機を作り出した。そして世界に誇る良質な生糸を作り上げていく変遷が、時代背景を踏まえて語った。

ピーク時には生糸の生産高量の77%を輸出して（昭和5～9年）外貨を獲得し、わが国の近代化に大きく貢献した製糸業は「多くの諏訪人の英知と努力があったからこそ」と強調した。

しかし、あれほど隆盛を極めた製糸業も、化学繊維の登場と生活様式の変化により需要が減少し、現在、諏訪では2社のみとなったが、シルクについて改めて見つめ直す機会になった講演会だった。

今年8月1日に生まれ変わる「岡谷蚕糸博物館」の開館が待たれる。

ユネスコ会員と一般視聴者を合わせて40名の参加があり、活発な質疑応答も交わされて、大変有意義な勉強会であった。



# 「書きそんじハガキの回収」9,956枚

日本ユネスコ協会連盟教育文化事業部が実施している世界寺子屋運動に参加し、地域に根ざした地道な運動を推進するため、寺子屋部会は昨年引き続き諏訪地区小中学校に協力をお願いして「書きそんじハガキ」回収運動を行うこととした。

## 第1回部会（平成25年11月14日）

今年度の活動について協議し、6市町村教育長宛・学校長宛の依頼文書を確認して、各地区担当者に配布した。

全児童へのチラシ内容の確認と発注について検討した。

## 第2回部会（平成25年12月5日）

地区毎に各学校訪問の日程計画を立て、児童数に見合う枚数のチラシを配布した。

## 第3回部会（平成26年2月17日）

各地区学校の集計作業と情報交換を行った。

集計結果は以下の通り

| 市町村名             | 回収枚数    | 募金額                 |
|------------------|---------|---------------------|
| 諏訪市 11校(4中7小)    | 3,821枚  | 交換切手の種類を<br>購入先と調整中 |
| 茅野市 13校(4中9小)    | 1,089枚  | 48,644円             |
| 岡谷市 12校(4中8小)    | 2,817枚  | 125,062円            |
| 下諏訪町 4校(2中2小)    | 796枚    | 35,510円             |
| 富士見町 5校(1中3小1養護) | 1,119枚  | 50,625円             |
| 原 村 2校(1中1小)     | 335枚    | 15,165円             |
| 小 計              | 9,977枚  |                     |
| その他の施設(一般)       | 775枚    | 4,005円              |
| 合 計              | 10,752枚 |                     |



# 理事会報告

第28回 理事会 平成25年11月7日(木)午後6時30分 於；事務局

1. 「書き損じハガキ キャンペーン」の取り組みについて
  - ・前年度実施の再確認
  - ・前年度(平成24年度)と同様に実施していく。
  - ・ポスター・チラシ等の発注。
  - ・学校長・教育長宛の依頼書を配布する。
  - ・11月14日、寺子屋部会を行う。
2. 地域遺産部会「シルク岡谷」講演会について
  - ・牛山、高林、小口3氏が岡谷蚕糸博物館を訪問し館長に講演依頼をした内容の報告。
  - ・1月早々にチラシの配布。
  - ・決定事項

|     |                |
|-----|----------------|
| 日 時 | 平成26年2月7日(金)   |
| 場 所 | 諏訪市公民館 1階 視聴覚室 |
| 内 容 | 「シルク岡谷」        |

演題「わが国の近代化を築いた諏訪<sup>すわびと</sup>人の英知と努力に学ぶ」  
講師 岡谷蚕糸博物館館長・農学博士 高林千幸氏

3. 「諏訪湖アダプトプログラム」実施状況の報告
  - ・3回実施し、58名の参加。
4. 「諏訪ユネスコ通信 第8号」の発行について
  - ・10月末発行し、配布済みの報告。
5. 各部会、部員の再編について
  - ・当面従来通りとし、新規に「地域遺産部会」副会長・北原國男理事「事務局」に牛山俊会長代理・小口智達会計を加える。

第29回 理事会 平成25年12月16日(月)午後6時 於；事務局

1. 地域遺産部会「シルク岡谷」講演会について
  - 1) 決定事項
    - ・第28回理事会通りとする。
    - ・準備品、役割分担の確認。
    - ・講師の送迎を行う。
  - 2) 参加者
    - ・諏訪ユネスコ協会会員・賛助会員。
    - ・一般市民
2. 「中部東ブロック ユネスコ活動研究大会 in 鎌倉」の参加について

|     |                                     |
|-----|-------------------------------------|
| 日 時 | 2014年3月8日(土)9日(日) 11時30分より          |
| 会 場 | 鎌倉生涯学習センター ホール                      |
| テーマ | 「文化の多様性と平和の文化、未来世代に残す地球に向けて」        |
| 参加者 | 13名                                 |
| 費用  | 大会参加費3,000円は会より負担、旅費・宿泊費・懇親会費は個人負担。 |

3. 「書き損じハガキ キャンペーン」について進行状況の報告

4. その他

・新規会員の紹介、承認...五味 功氏

第30回 理事会 平成26年1月7日(火)午後6時30分 於；事務局

1. 地域遺産部会「シルク岡谷」講演会について

1) 講演会開催要領

- ・会員へのチラシ配布を担当者に依頼する。
- ・会場の使用申請・減免申請の依頼...高林事務局長。
- ・講演会当日の準備確認と進行確認。
- ・報道機関への知らせ通知の確認。

2) 講師の送迎・謝礼

- ・講師の謝礼は車代として1万円。

2. 平成26年度定時総会について

- 1) 日 時...5月平日の夕方からがよいのではないかとの意見。
- 2) 場 所...諏訪市「ベルファイン」
- 3) 議 事
- 4) 公開講座について...濱副会長に依頼。
- 5) アトラクションについて...今回は行わない。
- 6) 懇親会について...行う方向で内容をつめる。

3. その他

・「書き損じハガキ」の回収は2月10日(月)頃までに行う。

・「寺子屋部会」を2月17日(月)に行う。

第31回 理事会 平成26年2月3日(月)午後6時30分 於；事務局

1. 地域遺産部会「講演会」について

- ・講師の先生の送迎、進行等役割分担の確認。
- ・ユネスコ幕・マイク・プロジェクター等々準備品の確認。
- ・役員は午後6時集合

2. 寺子屋部会「書き損じハガキ キャンペーン」について

- ・回収状況の報告。
- ・回収ハガキ持参時のお願い。
- ・次回の寺子屋部会2月17日(月)開催決める。

3. 平成26年度定期総会について

・決定事項

日 時 平成26年5月19日(月) 午後3時30分～

場 所 諏訪市「ベルファイン」

内 容 総会・公開講座・懇親会とする。

\*内容については更に検討する。

\*「ベルファイン」との打ち合わせ。

\*講師への依頼結果報告を行う。

4. その他

- ・総会時の名簿作成に付き退会者、新入会員等の確認を早期に行う。

## ＝文化の多様性と平和の文化未来世代に残す地球に向けて＝

中部東ブロック・ユネスコ活動研究大会が主管の鎌倉ユネスコ協会により3月8日(土)・9日(日)鎌倉生涯学習センターにて地区24協会、会員200余名の参加を得て開催された。

開会式に引き続き、講師・千 玄室によりテーマ「未来のために平和を考えよう」の特別記念講演が行われた

シンポジウムはテーマ「文化の多様性とこれからの日本」と題してコーディネーター伊藤玄二郎氏(関東学院大学教授)、パネリスト近藤誠一氏(前文化庁長官)、佐藤孝雄氏(高德院住職)、ピーターJマクミラン氏(杏林大学客員教授)により行われた。

二日目は研究事例発表会が行われた。研究大会の詳細は次号に掲載予定。

## 事業予定のご案内

### 諏訪ユネスコ協会 平成26年度定時総会

1. 日時：平成26年5月19日(月)午後3時30分
2. 場所：諏訪市「ベルファイン」
3. 総会  
【議事】  
平成25年度 事業・決算報告  
会則の一部改正について  
会長選任について  
理事選任について  
平成26年度 事業計画・収支予算案
4. 公開講座  
講師：諏訪湖博物館・赤彦記念館 館長 犬飼 徹 氏
5. 懇親会

### 日本ユネスコ協会連盟

### 第70回日本ユネスコ運動全国大会 in 知床

日時：平成26年6月7日(土)～8日(日)  
場所：北海道知床 斜里町公民館 ゆめホール知床